

自分で考え
進路を選択
世界の大学狙う

高い英語力と明確な目的意識を培い海外大学への目覚ましい合格実績を上げている広尾学園のインターナショナルコース。2017年には18人だった同校の海外大学合格者数は年々増え続け、21年は前年比2.8倍の222人という圧倒的な実績を上げた。生徒の海外大学進学をどのようにサポートしているのか。同コースの植松久恵統括長に聞いた。



インターナショナルコースでは、高度な専門性を持つ25人の外国人教員が指導をしている

「SGには公立の小学校でリーダー的の存在だった生徒も多いのですが、日本で似通つた教育を受けてきた生徒だけのクラスをまとめるのと、各国で学んできた多様な生徒たちがいるクラスをまとめるのとでは、求められる資質がまったく違います。その経験は、社会へ出て、多様な価値観を持つ人々がいるグループを率いる際に大きく役立つはるという。

までの生徒への指導方針は「量的
まで選択肢を広げていく」が
キーワードです。自分の学びた
い専攻があるなら、国を問わず
に情報を集めることを勧めま
す。日本の大学も受験してみた
いなら、すべての合格がそろつ
てから自分で選択しなさいと指
導しています。実際、今年の卒
業生（SG出身）には、横浜市

学部に絞れなければ、複数の学部で学ぶのもよいでしょう。それが可能なのが北米の大学です。日本と違い、例えば「経営情報科学」「化学+美術」というように専攻を2つ選択できるので、そうした学び方も含めて生徒にアドバイスしています。インターナショナルコース

こうした3年間を過ごすことによって、SG生は英語力にとどまらない力を身に付ける。そして高校では、インターナショナルコースはAGに一本化されるのである。

生徒が興味・関心の対象を見つけたら、その分野はどの大学のどの学部で学べるのかといった情報が必要になる。しかし、日本で海外大学の情報を得るのは容易でない。同校は情報収集のサポートにも力を入れていて、るために国内のインターナショナル

雑誌社のインターネット・セットアップを探す努力をし、教員もサポートする。広告ポスターのメッセージ性をディスカッショントしたこと機にメディアや広告コミュニケーションの世界に踏み出した生徒もいる。日々の授業の中でも考えたことを通じ、興味・関心の対象を見つけ、将来の道を

コニー大学から授業料全額免除のオファーをもらったケースがあり、4月に横浜市立大学に入学しましたが、9月からはボツコニー大学に転学しました」と例を挙げ、学ぶ場の選択肢を広げた生徒が多くいると語る。

生徒が自分の興味・関心の対象を見つけるための方法としては、ボランティアをはじめ、企業のインターンシップやビジネススクンテスト、海外大学のサマースクールなどといった課外活動に積極的に参加することを奨励している。例えば「メディア論」という授業の中でジャー

Placement)」の授業も選択可能だ。内容は大学の教養課程レベル。年1回実施されるテストで一定の評価を得れば、欧米の大学受験が有利にならるだけでなく、大学によっては卒業に必要な単位に組み込めるメリットもある。広尾学園は米国運営団体からAPの授業とテ

の予備試験版がP.S.A.T.。これらの試験で高得点を取つておけば、米大に進学する際に有利になる。同校では中3でP.S.A.T.、高校でS.A.T.を受験するため、その対策を0限や夏期講習で指導している。

さらに高2・高3では、北米の高大連携プログラムの一つ

18年からは同校を会場として海外大学合同説明会を実施。以降定期的に交流している。コロナ禍で昨年からはオンライン開催となっているが、ほぼ毎日、数校ずつの説明会を行っているという。

■ 海外大学に進学へ
情報や対策講座も万全

インター・ナショナルコースでは、英語教育の一環として、自校を試験会場として「PSAT／SAT」を実施している。SATは米国の大に進学する際

情報や対策講座も万全

18年からは同校を会場として海外大学合同説明会を実施。以来、200校を超える海外大学と定期的に交流している。コロナ禍で昨年からはオンライン開催となっているが、ほぼ毎日、数校ずつの説明会を行っている」という。

つ生徒が対象の「アドバンストスグーループ（AG）」と、それ以外の「スタンダードグループ（SG）」の混合クラス編成となっている。1クラスのメン

な英語コミュニケーション能力と国際感覚の育成に力を入れるのが、インターナショナルコースだ。インターナショナルスクール並みの国際教育環境が整っているが、一般的なインターナショナルスクールと決定的に違うのは、学校教育法第一条で「学校」と定められた「一条校」であること。そのため、卒業すれば「高校卒業」の資格を得られ、国内の大学も支障なく受験できる。

同コースはクラス編成にも特徴がある。中学では、帰国生など一定レベル以上の英語力を持

A portrait of Hiroko Hashimoto, a woman with dark hair and bangs, wearing a dark blue dress with a subtle floral pattern. She is smiling slightly and looking towards the camera.

廣尾字園インターナショナルコース
植松 久恵 統括長

- USA スタンフォード大学、プリンストン大学、ペンシルベニア大学、ブラウン大学、カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、ミシガン大学、ノースウェスタン大学、ニューヨーク大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、ジョージア工科大学、ミドウェー大学、ポモナ大学、ウイリアムズ大学、ウェズリアン大学、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、南カリフォルニア大学、ボストン大学、カリフォルニア大学デービス校、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、カリフォルニア大学アーバイン校、パデュー大学、ミシガン州立大学、スミス大学、タフツ大学
- カナダ トロント大学、ブリティッシュコロンビア大学、マギル大学
- UK インペリアル・カレッジ・ロンドン、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、エディンバラ大学、キングス・カレッジ・ロンドン、マンチェスター大学、ウォーリック大学、ブリスト大学、グラスゴー大学
- オーストラリア シドニー大学、オーストラリア国立大学、クイーンズランド大学、モナシ大学、ニューサウスウェールズ大学
- その他 デルフト工科大学(オランダ)、ポッコニ大学(イタリア)、北京大学(中国)、香港科技大学

ない国内高校のうちの一校だ。植松統括長は受験生へのメッセージとして「本校インター・ナショナルコースの教育は、国内外を問わず志望する方向へ進んでいける土台づくりを目指しています。英語がゼロベースで学してきたSGの生徒たちも、6年間で名門の海外大学に入学できるようになります。興味・関心の対象と、その先に続く進路を自分で探し、自分でレールを敷いていくことにチャレンジしたい人に、ぜひ来ていただきたい」と呼び掛けた。

「SGは、英語力を入学後に強化したい生徒向けのグループで、本格的に英語を学ぶのは本校に入学してからです。毎朝、ホームルーム前の0限に外国人教員から英会話を3年間学び、主要教科はSG向けの授業を日本教員から日本語で学びます。一方、AGの生徒は帰国生や国内インター・ナショナルスクール出身者などで一定の英語力があるため、ほぼすべての授業を、それぞれの専門性を持つ外国人教員から英語で受けます。道徳・美術・ITといった実技科目の授業やホームルームも英語で行われ、それらはSGもAGも一緒に受けるのです」

こうした学習環境のため、SGの生徒も英語に触れる時間は

グラムを体験し、文系・理系を問わず幅広い学習を行う。医進・サイエンスコースは医師や最先端科学の研究者を目指し、医学部医学科や難関大学の理工学部に進学することを想定。複数の大学の医学部と連携

パ-1構成は、AG20人とSG20人の計40人。それが1学年に2クラスあり、日本人教員と外国人教員の2人がクラス担任となる。こうした混合クラスで、どのような学び方をするのか。植松統括長はこう説明する。

